

# 国営公園事業海の中道海浜公園【直轄】(福岡県福岡市)

継続

建政一1

## ■概要

北部九州の広域的レクリエーション需要等に対応するため国が整備・管理している本公園において、未供用区域における白砂青松を継承する自然との共生の場づくりのための整備や、既供用区域における魅力向上・防災機能向上のための再整備を推進する。

事業費:347百万円

## ■整備内容(令和7年度):

西駐車場拡張整備(地域避難場所の拡充)、松林育成(松枯れ対策・枯損木伐採・間伐)、未供用区域基本計画検討

### 《位置図》

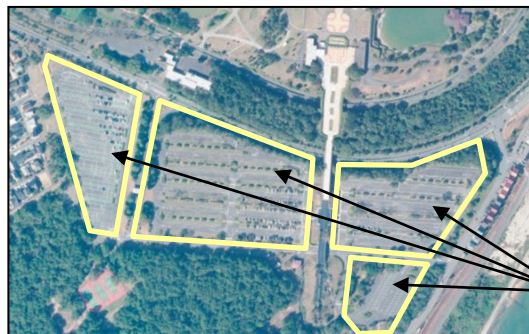


【公園概要】  
・計画面積:539ha  
・供用面積:350ha

### 松林育成(枯損木伐採)

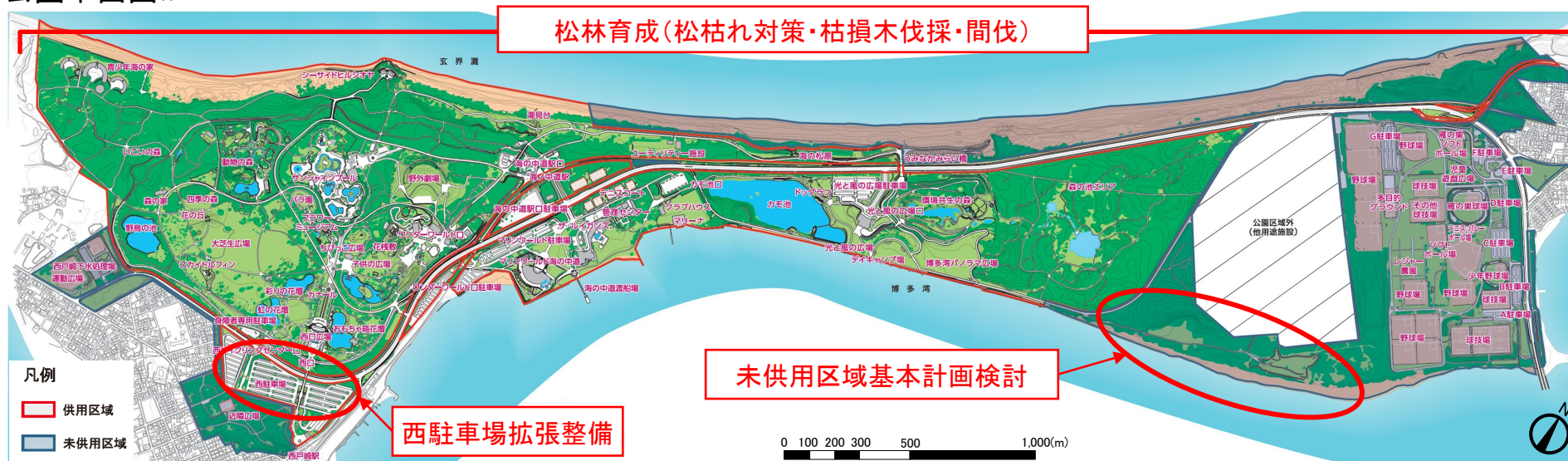


### 西駐車場拡張整備



駐車場ますの増設により、  
災害時の車両受入台数を増加

### 《公園平面図》



- 概要

西鉄柳川駅周辺と観光拠点である沖端水天宮周辺において、広場の整備や道路の高質化など掘割を活かした柳川らしい空間を創出することで、観光地としての魅力向上を図る。
- 事業内容: 駅前広場の整備、道路の高質化、掘割沿いの整備等

■事業主体: 柳川市

■事業期間: 令和2年度～令和7年度

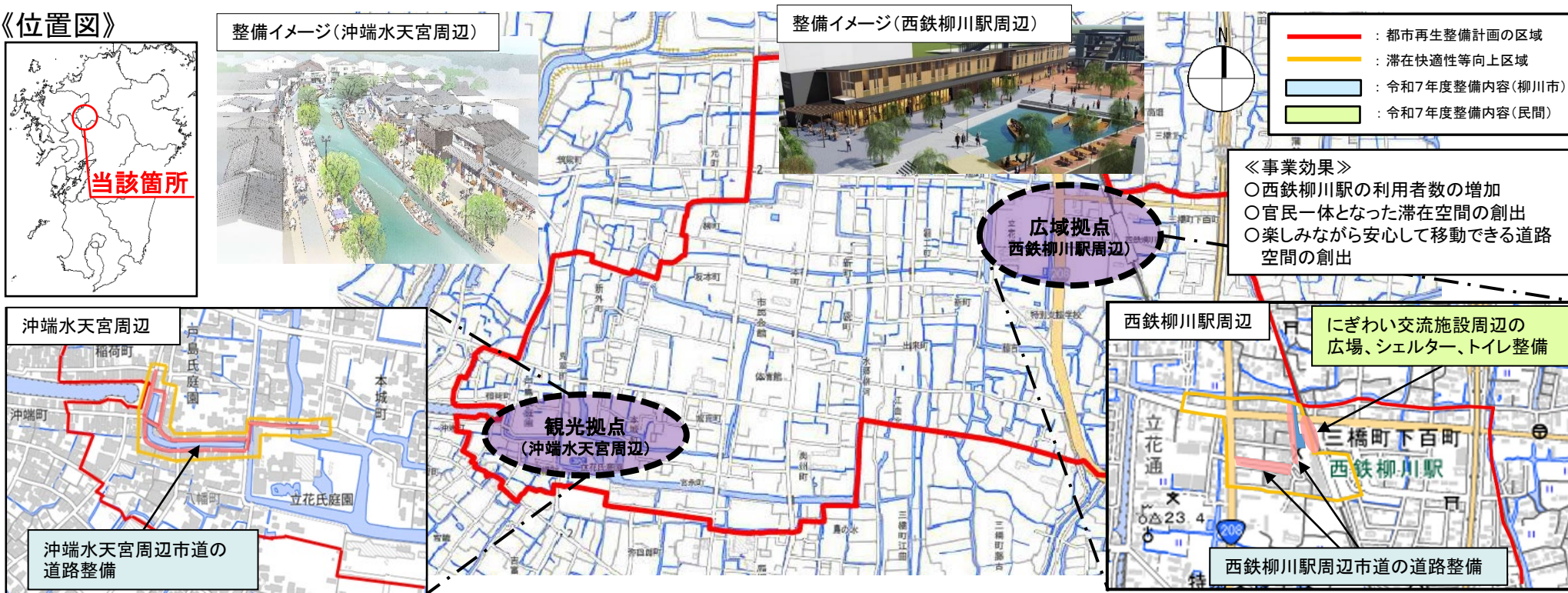
■整備内容(令和7年度): 沖端水天宮周辺市道等の高質化(舗装、植栽、照明等)
- 事業内容: にぎわい交流施設周辺施設の整備

■事業主体: 民間事業者

■事業期間: 令和7年度

■整備内容(令和7年度): 広場、シェルター、トイレの整備
- 社会資本整備総合交付金の内数

事業費: 147百万円



## 西日本鉄道天神大牟田線(雑餉隈駅付近)連続立体交差事業【補助】(福岡県福岡市)

## ■概要

事業費:496百万円

雑餉隈駅付近において、踏切での交通渋滞や事故の解消を図り、鉄道により分断された市街地を一体化するなど、沿線地域の良好な住環境を形成するため、鉄道の高架化を行う。併せて側道整備を行い、沿線の交通の利便性や安全性を高めるとともに、駅へのアクセス性を高め、公共交通の利用促進を図る。

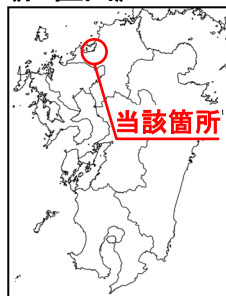
■事業内容:連続立体交差事業(延長 L=1,864m)

■事業主体:福岡市

■事業期間:平成22年度～令和7年度

■整備内容(令和7年度):側道用地取得、側道整備

## 《位置図》



## 《事業効果》

- 高架化で7箇所の踏切を除却(うちボトルネック踏切5箇所)
- 踏切除却による自動車等の移動所要時間短縮、事故減少
  - ・雑餉隈5号踏切では、ピーク時の最大渋滞長370mが解消
  - ・踏切事故解消(着手前10年間の踏切事故件数12件(うち死亡事故7件))

## 《平面図》



## 《整備内容》



## 桜並木駅周辺



## 桜並木駅(新駅)

令和4年8月28日  
高架切替

## 概要

かんたけがわ

社会資本整備総合交付金の内訳

本地区に隣接する二級河川神嶽川の氾濫による度重なる浸水被害や、木造建築物の密集・老朽化など、多くの防災上の課題を解決するため、神嶽川河川改修事業とあわせて立体換地手法を活用した土地区画整理事業を行い、密集市街地対策や防災機能の強化を図るとともに、北九州市小倉都心部の重要な商業拠点である旦過市場の更なる活性化を図る。

■事業内容:土地区画整理 約0.6ha ■事業主体:北九州市 ■事業期間:令和2年度～令和9年度

■整備内容(令和7年度):立体換地建築物整備、補償等

## 《位置図》



## 《現状と課題》



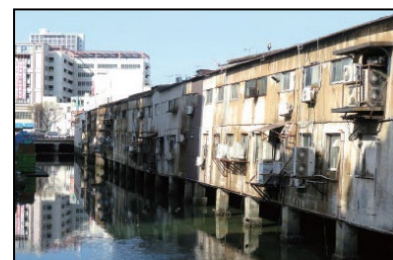
▲賑わいのある旦過市場



▲神嶽川の氾濫による浸水被害



▲密集・老朽化した建築物

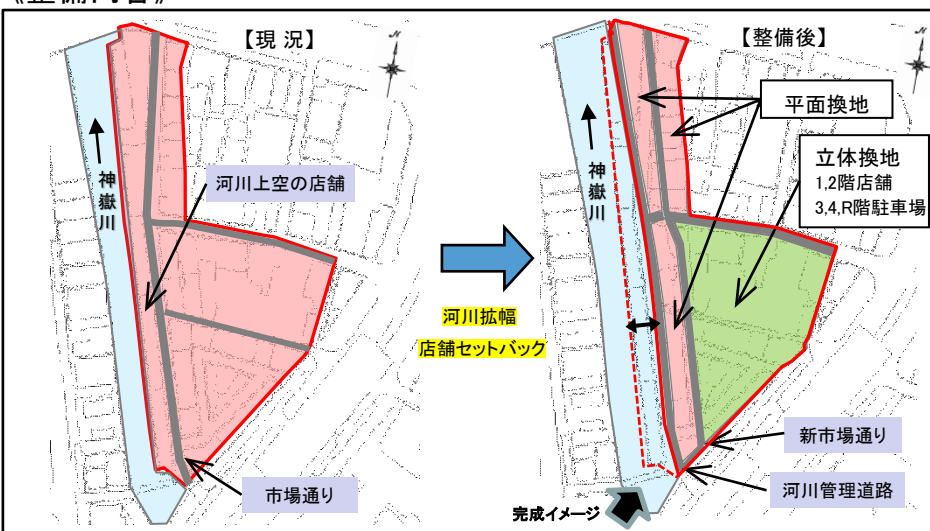


▲河川上空に張り出した店舗

## 《航空写真》



## 《整備内容》



## 《完成イメージ》(R7.2月時点)



## 《事業効果》

- 河川改修による浸水被害の解消
- 建物整備による密集・老朽化の解消

## 福岡市南地区地域居住機能再生推進事業【補助】(福岡県福岡市)

## ■ 概要

福岡市営弥永住宅において、集約建替及び屋上防水改修等の老朽化対策を実施することで居住水準の向上を図るとともに、ZEH水準※に適合した住宅を新築することにより省エネルギー対策を推進する。

※省エネ基準より20%の省エネを図った住宅性能をみたすもの

■事業内容:市営弥永住宅 (建替前)RC造1,500戸 → (建替後)RC造1,500戸(予定)

UR若久団地 わかひさ (建替前)RC造1,066戸 → (建替後)RC造 580戸(予定)

■事業主体:福岡市、都市再生機構 ■事業期間:平成25年度～令和13年度

■事業内容(令和7年度)

福岡市:建替工事(本体) 弥永住宅:RC造305戸、除却工事 弥永住宅:RC造100戸

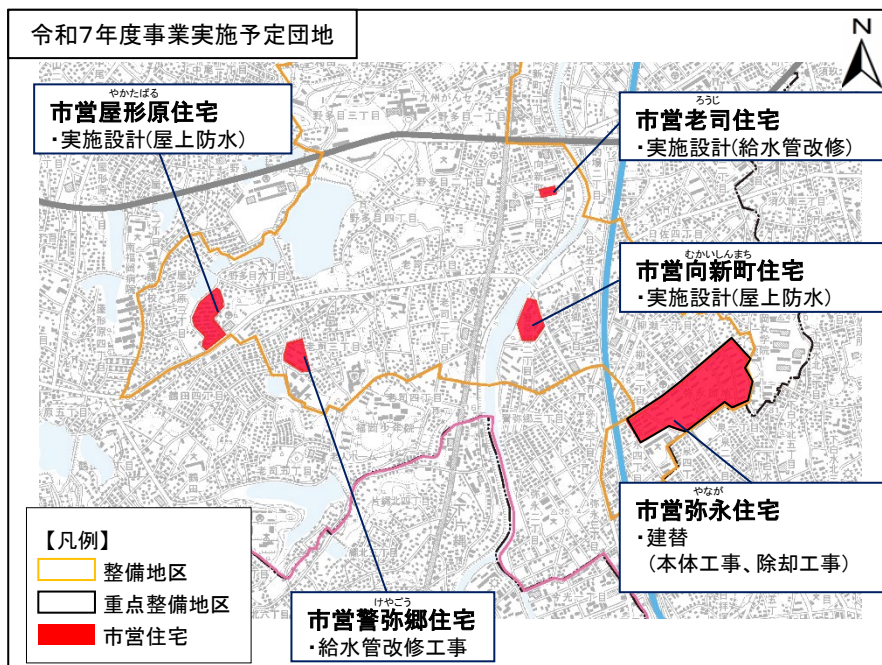
実施設計(屋上防水・給水管改修)、給水管改修工事150戸

事業費:1,983百万円

### 《位置图》



## 《整備内容》



老朽化した  
市営住宅



建替後(イメージ)



- 概要

図書館や地域交流センター等の多様な都市機能をJR佐賀駅周辺へ誘導し、コンパクトで住みやすいまちづくりを推進する。  
また、幹線道路である佐賀駅下古賀線の歩道を拡幅し、歩いて楽しい空間を創出することで、JR佐賀駅南側エリアから中心市街地への回遊性を高め、まちなかの賑わい創出を図る。
- 事業内容:図書館大規模改修、地域交流センターの整備、公園整備等

■実施主体:佐賀市

■事業期間:令和7年度～令和11年度

■整備内容(令和7年度):図書館大規模改修の設計、旧TOJIN茶屋跡地整備の用地取得・調査等

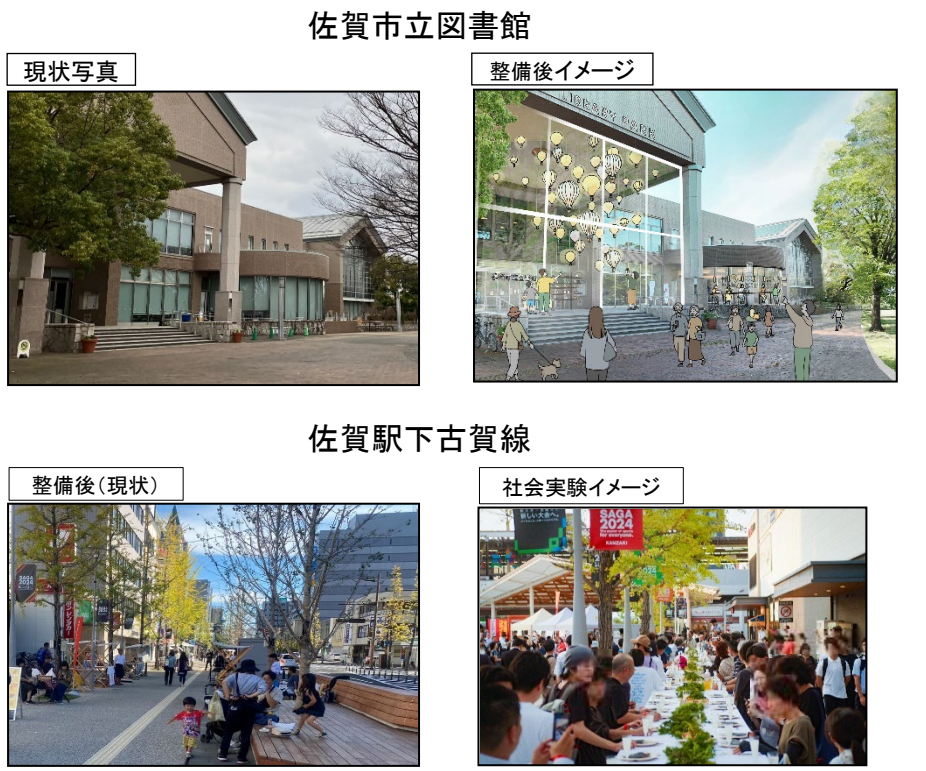
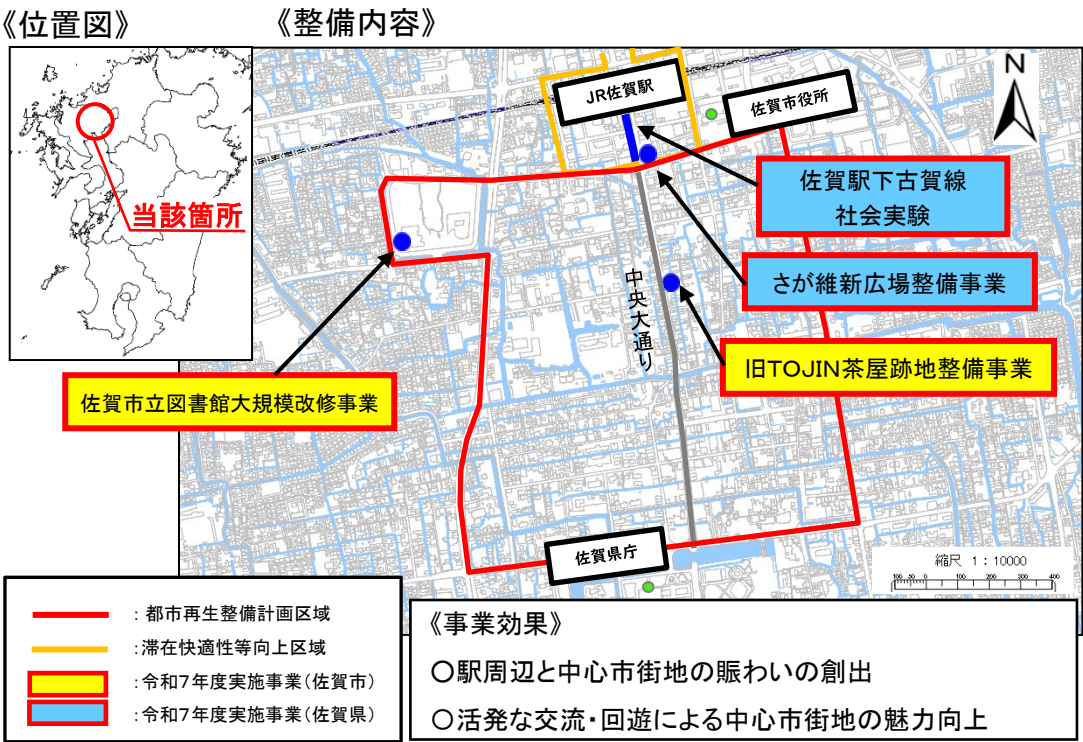
事業費: 275百万円
- 事業内容:道路の高質化、広場整備、社会実験

■実施主体:佐賀県

■事業期間:令和6年度～令和9年度

■整備内容(令和7年度):さが維新広場(旧駅前まちかど広場)の整備、佐賀駅下古賀線の道路利活用に向けた社会実験

事業費: 115百万円



## 社会資本整備総合交付金の内数

## ■概要

県営バスターミナルを含む周辺地区は、長崎駅前に位置し、都市間交通の拠点であるが、建物の老朽化と耐震不足に加え、ターミナル機能が不足しており、再整備が喫緊の課題である。このことから、市街地再開発事業により、土地の合理的かつ健全な高度利用による魅力的な都市空間の創出、建物の耐震化・耐燃化による防災性の向上、高速バスターミナル機能更新による利便性の向上を図る。

## ■事業内容:市街地再開発事業 延べ面積 約20,900㎡(予定)

バスターミナル、商業・業務・宿泊施設、駐車場 等

## ■事業主体:大黒町地区市街地再開発準備組合

## ■事業期間:令和7年度～令和13年度(予定)

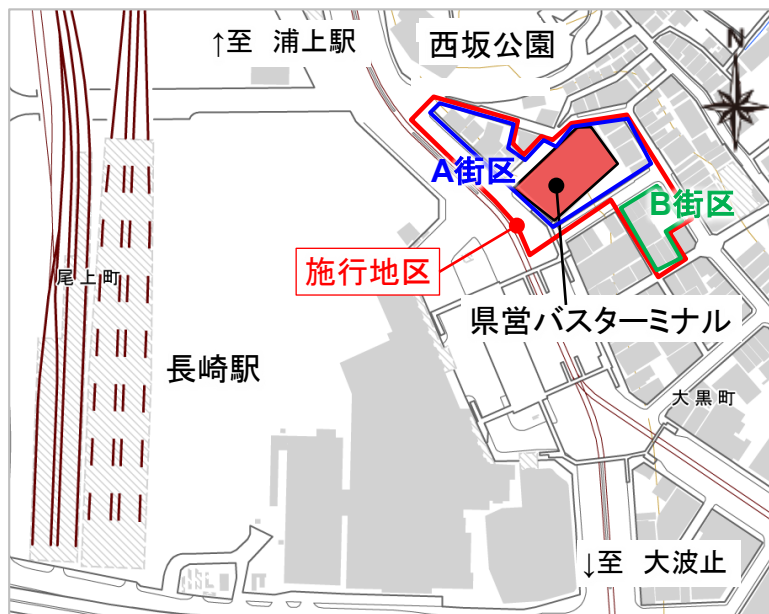
## ■整備内容(令和7年度):調査設計計画(測量、権利調査、建物調査、地質調査など)

## 《位置図》



## 《整備内容》

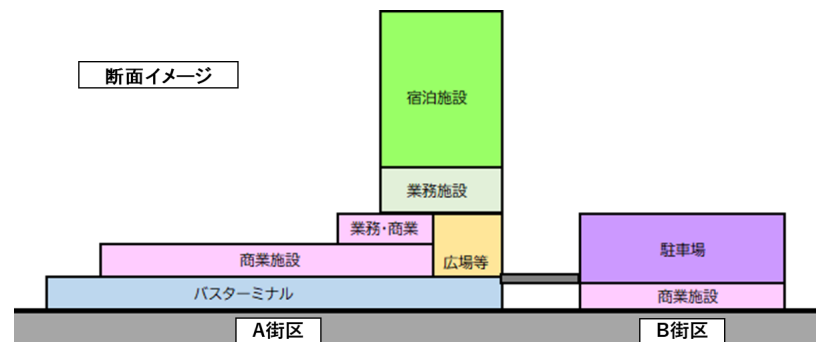
バスターミナル、商業・業務・宿泊施設、駐車場 等



## 《事業効果》

- 高度利用による、魅力的な都市空間の創出。
- 建物の耐震化及び耐燃化による、防災性の向上。
- バスターミナル機能更新による、利便性の向上。

## 断面イメージ



※断面イメージは検討中(未確定)

## 《航空写真》



事業費:1,045百万円

## 概要

都市計画道路長崎時津縦貫線(茂里町～滑石工区)は、地域高規格道路長崎南北幹線道路(延長約15km)の一部であり、本事業の整備により、地域間の連携強化と長崎市の慢性的な渋滞緩和を図り、ストック効果を重視した道路ネットワークを構築する。

■事業内容:道路整備(延長 L=5.3km、幅員 W=12～18m)

■事業主体:長崎県

■事業期間:令和4年度～令和18年度

■整備内容(令和7年度):調査設計・用地補償

## 《位置図》



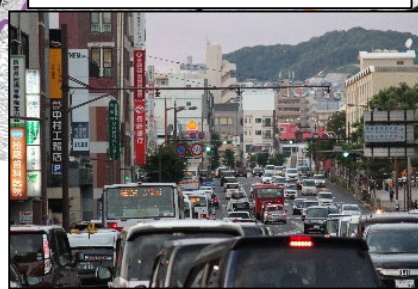
## 《平面図》



## ■地域間の連携強化



【写真① 国道206号渋滞状況】



長崎市北部唯一の主要幹線道路は国道206号の1本のみであり、慢性的な渋滞が発生。

【写真② 国道206号緊急車両】

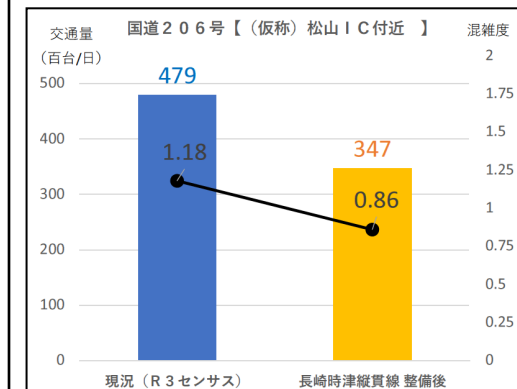


交通渋滞の中、車両の間を縫って救急搬送している救急車両。

## 《事業効果》

- 高規格道路ネットワークを形成し、主要都市間の移動時間短縮による地域間の連携強化や交流促進を図り、観光振興や産業振興などに大きく寄与する。
- また、国道206号の朝夕ピーク時の混雑緩和による通勤・通学時間の短縮、物流の効率化等が期待される。

## ■市内の慢性的な渋滞緩和



## ■概要

熊本県地域防災計画に基づき、広域の市町村に及ぶ大規模な災害発生時の「広域防災拠点」として位置づけられ、物資の輸送や各部隊の活動拠点基地、帰宅困難者の休憩・情報提供等の場としての役割を担っている本公園において、災害時の機能強化を図るため、避難場所や各部隊の活動拠点基地として機能する駐車場を整備する。

社会資本整備総合交付金の内数

■事業内容: 駐車場、植栽の整備

■事業主体: 熊本県

■事業期間: 令和7年度～

■整備内容(令和7年度): 用地測量、用地買収、駐車場の設計、造成工事

## 《位置図》



当該箇所

## 《災害時の土地利用イメージ》



## 駐車場の整備イメージ



凡例

- 供用中エリア
- 整備中エリア

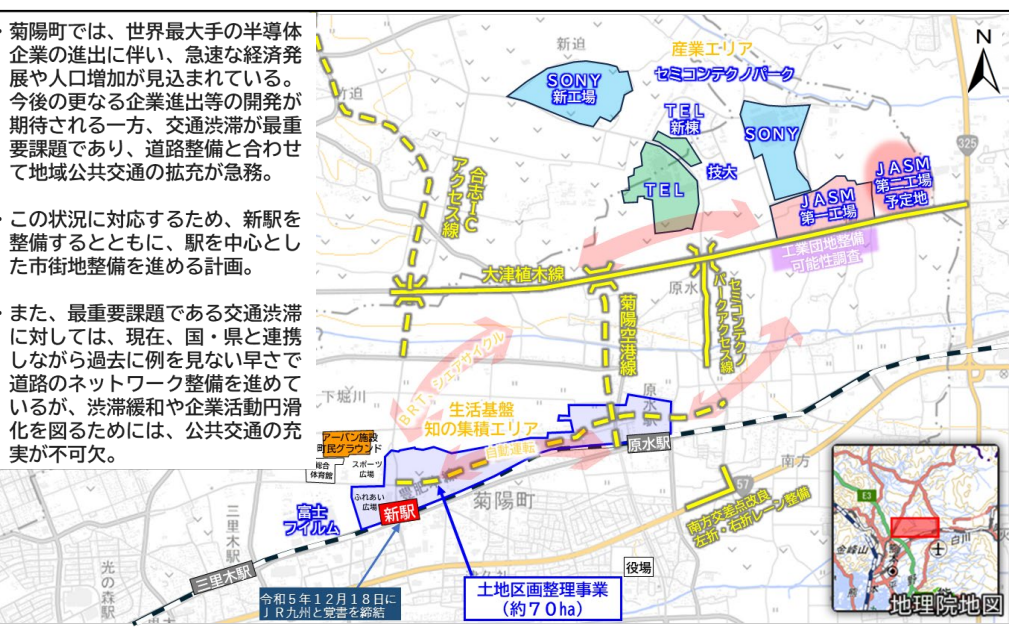
- 概要  
菊陽町における半導体企業の進出を背景とした今後の経済発展や、人口増加に対応するため、立地適正化計画に位置付ける新駅を整備するとともに、一体的に進める土地区画整理事業と合わせて「駅を中心とした市街地整備」を推進する。
- 事業内容: 駅舎、駅前広場、自転車駐車場、シェルター及び鉄道施設の整備
- 事業主体: 菊陽町      ■ 事業期間: 令和7年度～令和11年度
- 整備内容(令和7年度): 新駅整備基本設計
- 社会資本整備総合交付金の内数

《位置図》  


《事業効果》  
○土地区画整理事業と一体となったまちづくりの拠点整備  
による、交流・関係人口の増加や企業活動の円滑化  
○新駅からの二次交通充実を図ることによる、交通渋滞の緩和や地域公共交通の利便性向上

《全体図》

- 菊陽町では、世界最大手の半導体企業の進出に伴い、急速な経済発展や人口増加が見込まれている。今後の更なる企業進出等の開発が期待される一方、交通渋滞が最重要課題であり、道路整備と合わせて地域公共交通の拡充が急務。
- この状況に対応するため、新駅を整備するとともに、駅を中心とした市街地整備を進める計画。
- また、最重要課題である交通渋滞に対しては、現在、国・県と連携しながら過去に例を見ない早さで道路のネットワーク整備を進めているが、渋滞緩和や企業活動円滑化を図るためには、公共交通の充実が不可欠。





# 熊本地震からの復興【補助】(熊本県益城町・熊本市)

- 概要

平成28年熊本地震で最も建物被害が集中し、倒壊家屋による道路の閉塞により避難経路が確保できないなど問題が生じた益城中央地区の被災市街地復興土地区画整理事業など、熊本地震からの復興まちづくりを推進する。

○(都)益城中央線ほか1線街路事業(益城町)

■事業内容:道路整備

■事業主体:熊本県

■整備内容(令和7年度):道路整備、補償等

○益城中央被災市街地復興土地区画整理事業(益城町)

■事業内容:土地区画整理

■事業主体:熊本県

■整備内容(令和7年度):道路整備、補償等

○宅地耐震化推進事業(宅地液状化防止事業)(熊本市)

■事業内容:宅地と一体的に行われる道路等公共施設の液状化対策

■事業主体:熊本市

■整備内容(令和7年度):地下水位観測

交通安全対策事業(通学路緊急対策)  
(熊本県内(政令市除く))  
事業費2,975百万円の内数

社会資本整備総合交付金の内数

社会資本整備総合交付金の内数

《位置図》

《整備内容(益城町)》

箇所①(福富地区)

箇所②(安永地区)

被災時

整備後

《整備内容(熊本市)》

宅地耐震化推進事業(宅地液状化防止事業) R7完成

被災時

鋼矢板打設

【地下水低下工法イメージ図】

住宅地や道路部分の地下水位を強制的に低下させて液状化を抑制します。

《位置図》

《整備内容(益城町)》

箇所①(福富地区)

箇所②(安永地区)

被災時

整備後

《整備内容(熊本市)》

宅地耐震化推進事業(宅地液状化防止事業) R7完成

被災時

鋼矢板打設

【地下水低下工法イメージ図】

住宅地や道路部分の地下水位を強制的に低下させて液状化を抑制します。

■概要

社会資本整備総合交付金の内数

道路空間の再配分や高質化等による歩行環境の向上、熊本駅新幹線口駅前広場改修を推進し、誰もが安心して訪れ・回遊することができる居心地の良い人中心の公共空間を整備することで、中心市街地の賑わいや回遊性の向上を図る。

■事業内容：駅前広場の整備、道路の高質化、社会実験等

■事業主体：熊本市      ■事業期間：令和3年度～令和7年度

■整備内容(令和7年度)：熊本駅新幹線口駅前広場の整備、主要地方道熊本高森線等の高質化(舗装)、道路空間再配分に向けた交通解析及び社会実験等

《位置図》



花畑町九品寺4丁目第1号線道路空間活用促進(滞在環境整備事業)

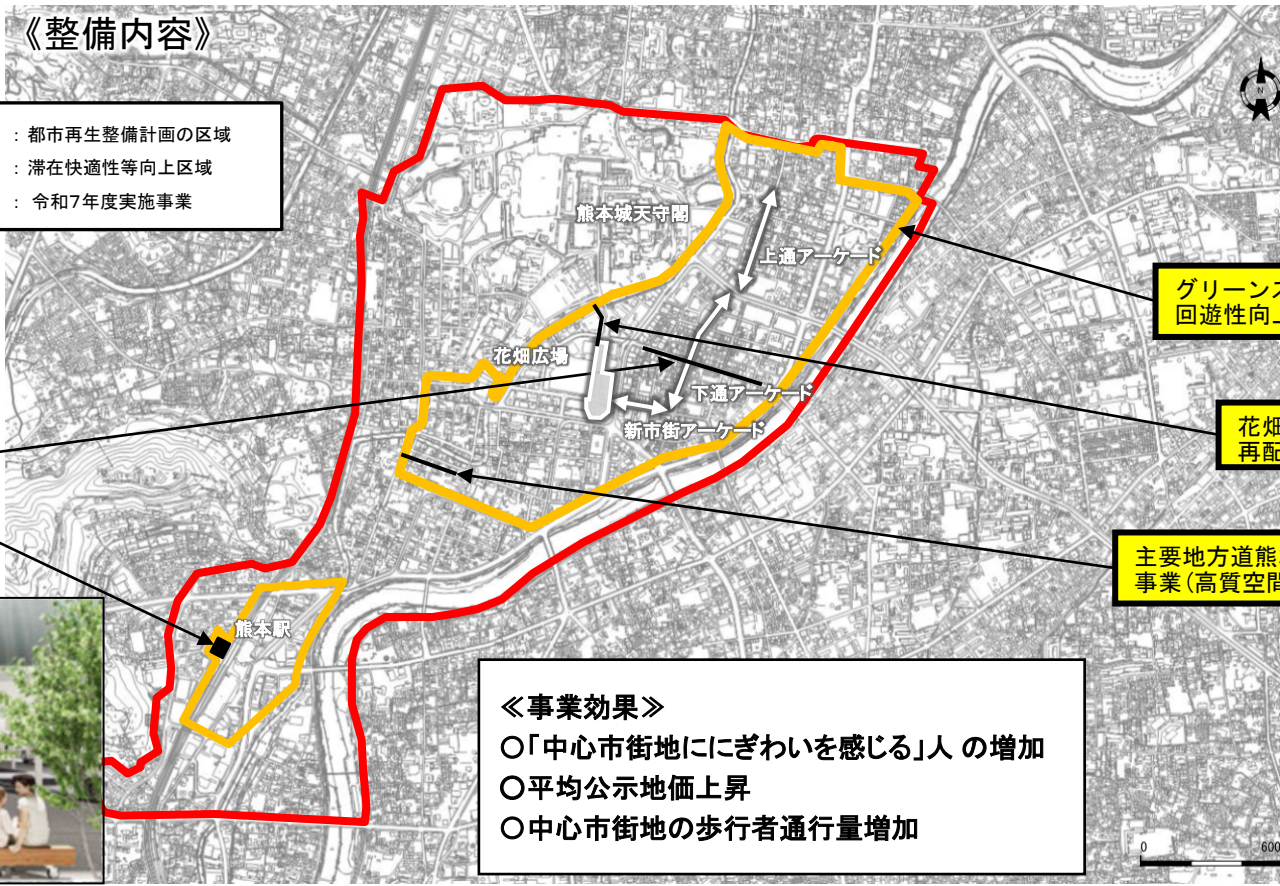
熊本駅新幹線口駅前広場改修事業(道路事業)

整備イメージ



《整備内容》

- 都市再生整備計画の区域
- 滞在快適性等向上区域
- 令和7年度実施事業



事業イメージ



グリーンスローモビリティの導入による回遊性向上事業(滞在環境整備事業)

花畑町桜町第1号線道路空間再配分事業(滞在環境整備事業)

主要地方道熊本高森線等道路舗装美装化等事業(高質空間施設)

《事業効果》

- 「中心市街地ににぎわいを感じる」人の増加
- 平均公示地価上昇
- 中心市街地の歩行者通行量増加

整備イメージ



■概要

社会資本整備総合交付金の内数

令和2年7月豪雨災害により甚大な浸水被害を受けた被災地において、「人吉市復興まちづくり計画」に基づき、避難路・避難地の確保や未接道地の解消などに向けた復興まちづくりを推進する。

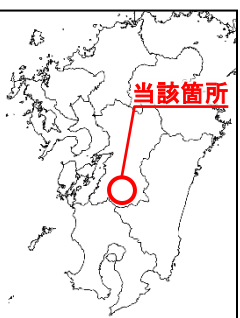
○青井被災市街地復興土地区画整理事業(人吉市)

- 事業内容:土地区画整理 約5.2ha
- 事業主体:熊本県
- 事業期間:令和4年度～令和10年度
- 整備内容(令和7年度):補償、道路整備等

○紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業(人吉市)

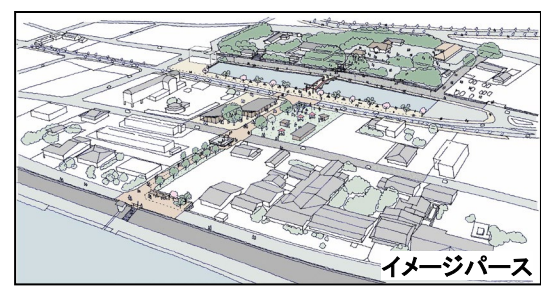
- 事業内容:土地区画整理 約1.2ha
- 事業主体:人吉市
- 事業期間:令和4年度～令和10年度
- 整備内容(令和7年度):補償、道路整備等

《位置図》

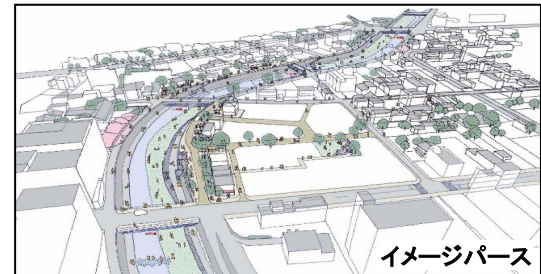


《整備概要》

【青井地区】



【紺屋町地区】



しょうはるさのしもごおりしもごおりあけの

(都)庄の原佐野線(下郡工区、下郡・明野工区)街路事業【補助】(大分県大分市)

■概要

都市計画道路庄の原佐野線は、地域高規格道路大分中央幹線道路(延長約6km)に指定されており、大分市内の東西骨格道路である。本事業の整備により、地域間連携と都市内構造の強化、並行路線の国道10号等の渋滞緩和を図り、ストック効果を重視した道路ネットワークを構築する。

○庄の原佐野線(下郡工区)

事業費:2,012百万円

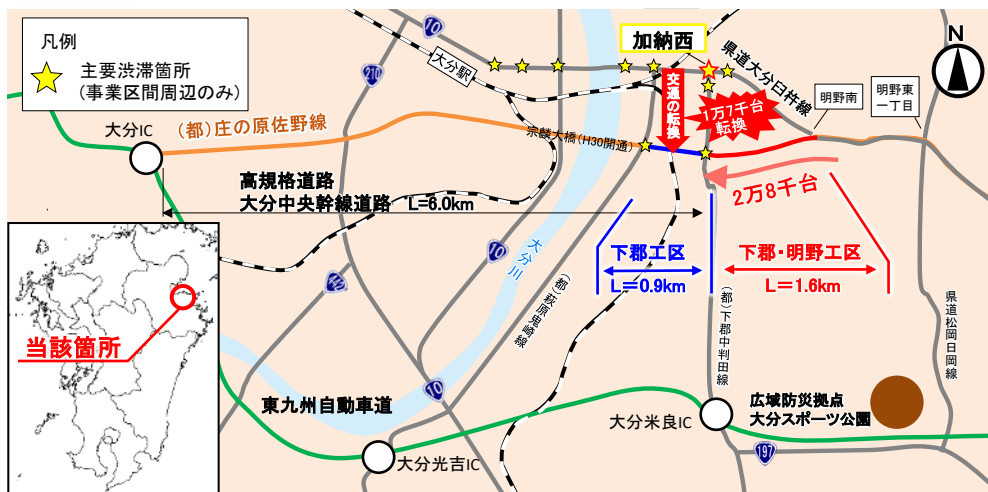
- 事業内容:道路整備(延長L=900m、幅員W=55m)
- 事業主体:大分県
- 事業期間:平成29年度～令和8年度
- 整備内容(令和7年度):橋梁上下部工工事等

○庄の原佐野線(下郡・明野工区)

事業費:385百万円

- 事業内容:道路整備(延長L=1,600m、幅員W=61m)
- 事業主体:大分県
- 事業期間:令和5年度～令和18年度
- 整備内容(令和7年度):橋梁下部工工事及び測量、設計、地質調査等

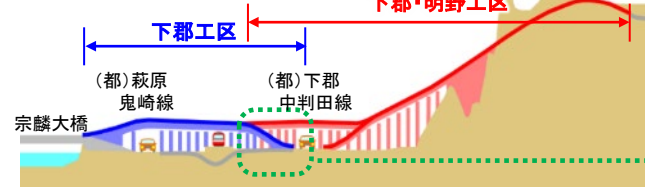
《位置図》



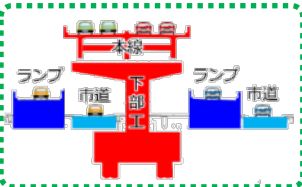
《事業効果》

○当該地域では、大分市中心市街地と市南東部を往来する交通が集中するため、慢性的な渋滞が発生しているが、下郡工区、下郡・明野工区の整備によるアクセスの強化と交通の分散によって、渋滞緩和及び移動時間の短縮が期待される。

《縦断図》



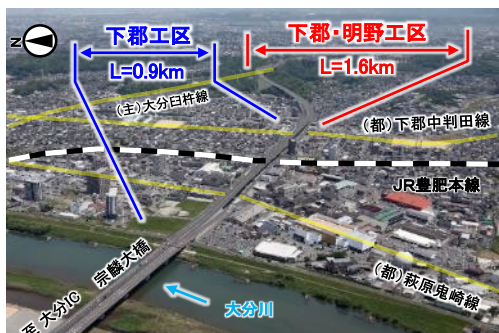
【横断図】



《渋滞状況》写真



《整備内容》完成イメージ



県道 大分臼杵線の渋滞状況(朝ピーク時)

# 明野地区地域居住機能再生推進事業【補助】（大分県大分市）

## ■概要

事業費：939百万円

大分県営明野住宅において、集約建替及び外壁改修等の老朽化対策を実施することで居住水準の向上を図るとともに、こども園を併設することで子育て世帯にも魅力ある住生活環境の整備を推進する。また、ZEH水準※に適合した住宅を新築することにより省エネルギー対策を推進する。

※省エネ基準より20%の省エネを図った住宅性能をみたすもの

■事業内容：県営明野住宅（建替前）RC造565戸 → （建替後）RC造300戸（予定）

■事業主体：大分県、大分市 ■事業期間：令和5年度～令和11年度

■整備内容（令和7年度）

大分県：実施設計（建替・除却）、建替工事（本体）RC造56戸、除却工事 RC造71戸

大分市：実施設計（改善）、改善工事（外壁・屋上改修）RC造48戸、共用部LED改修 RC造168戸

## 《位置図》



## 《整備内容》



老朽化した明野住宅



建替後（イメージ）



■概要

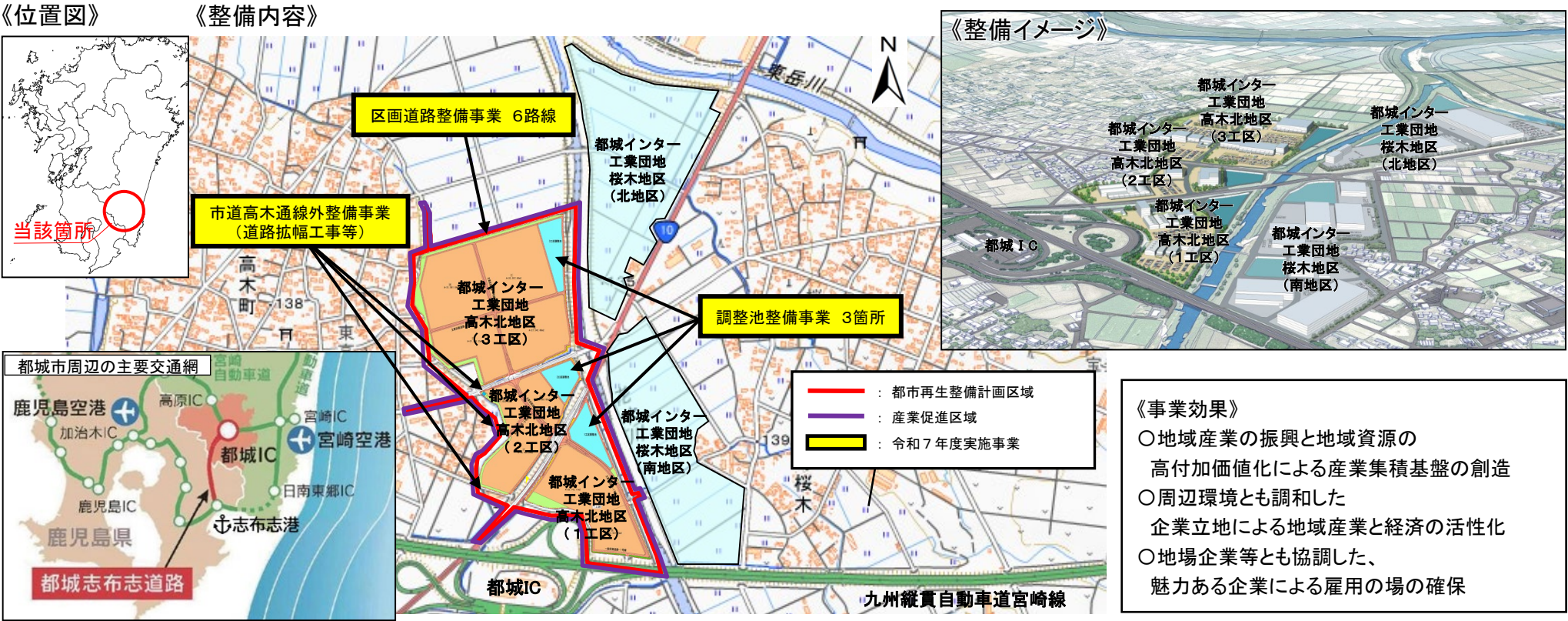
九州各地で半導体関連企業の進出が盛んに進められている中、都城ICに近く立地的に優れた本工業団地の基盤を整備し、先端産業の生産拠点等を誘致することにより、地域経済の活性化と雇用の拡大を図る。

■事業内容:道路事業、緑地・調整池の整備等

■事業主体:都城市      ■事業期間:令和7年度～令和11年度

■整備内容(令和7年度):工業団地地区内道路の整備、市道高木通線等の道路拡幅整備等

社会資本整備総合交付金の内数



## ■概要

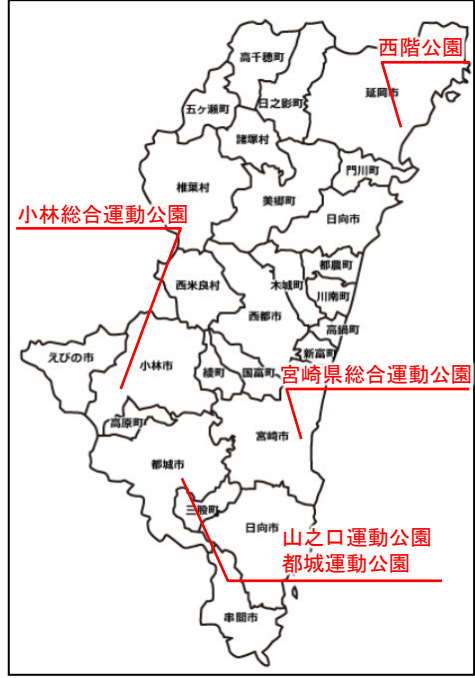
令和9年に宮崎県で開催予定の「国民スポーツ大会」および「全国障害者スポーツ大会」の会場となる都市公園において、競技場となる運動施設等を整備する。また、災害時の避難場所や自衛隊派遣部隊の活動拠点となる施設の整備により、地域の防災力向上を図る。

## 社会資本整備総合交付金の内数

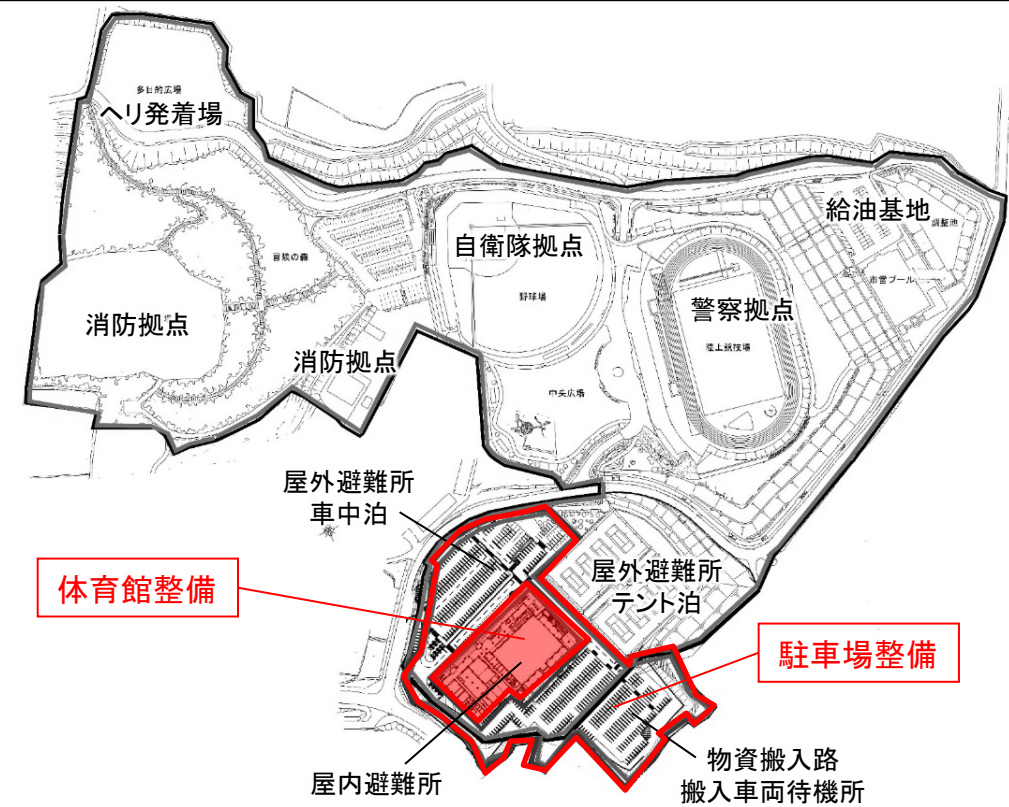
- |             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 【西階公園】      | ■事業内容:野球場改修                    |
| 【宮崎県総合運動公園】 | ■事業内容:自転車競技場改修、陸上競技場照明整備       |
| 【山之口運動公園】   | ■事業内容:陸上競技場、多目的広場、駐車場、園路、植栽整備  |
| 【都城運動公園】    | ■事業内容:テニスコート、屋内競技場、駐車場、園路、植栽整備 |
| 【小林総合運動公園】  | ■事業内容:体育館、駐車場整備                |

- |                          |
|--------------------------|
| ■整備内容(令和7年度):野球場改修       |
| ■整備内容(令和7年度):自転車競技場改修    |
| ■整備内容(令和7年度):園路、植栽整備     |
| ■整備内容(令和7年度):駐車場、園路、植栽整備 |
| ■整備内容(令和7年度):体育館、駐車場整備   |

## 《位置図》



## 《災害時の土地利用イメージ(小林市総合運動公園の例)》



## 体育館完成イメージ(外観)



## 体育館完成イメージ(内観)



## ■概要

社会資本整備総合交付金の内数

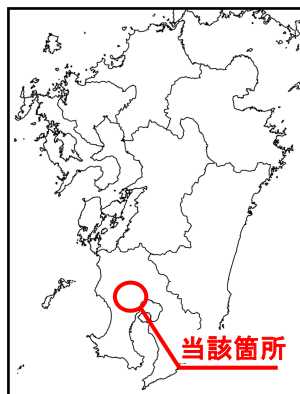
鹿児島県北部地域の広域的な利用を目的に河川・森林などの自然・景観を生かし、豊かな自然の中で様々な体験を通して安らぎと潤いを得られる空間の整備を進めている本公園において、虎居城跡などの地域の歴史的資産を活かした更なる魅力向上を目指し、「歴史ゾーン」を整備する。

■事業内容: 橋梁、園路、便所、展望台等の整備

■事業主体: 鹿児島県 ■事業期間: 平成5年度～令和10年度

■整備内容(令和7年度): 橋梁の整備

## 《位置図》



## 《平面図》



## 《完成イメージ》



## 橋梁イメージ



## ■概要

社会資本整備総合交付金の内数

道路、公園等の公共施設が不十分な状況で市街化が進行した本地区では、狭隘な道路が多く、劣悪な居住環境や歩行者の安全確保等の課題が生じている。本事業により街区の再編や宅地の嵩上げを行うことで、密集市街地の解消を図り、安全で良好な市街地の形成と、コンパクトでゆとりと賑わいのあるまちづくりを推進する。

■事業内容:土地区画整理 約34.9ha

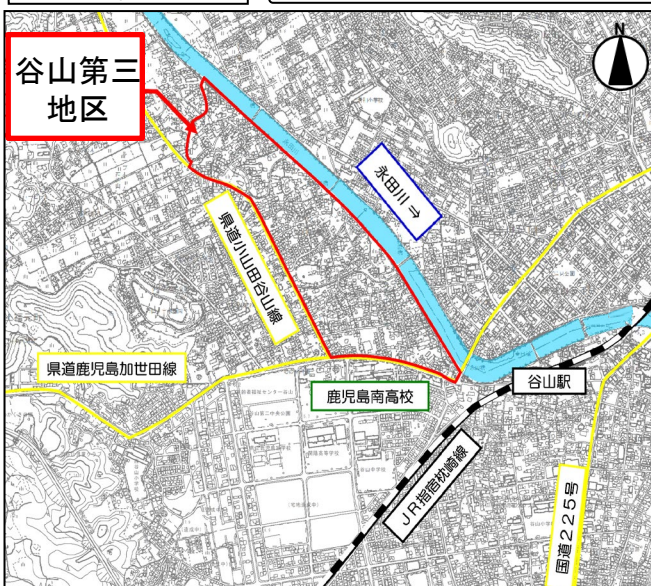
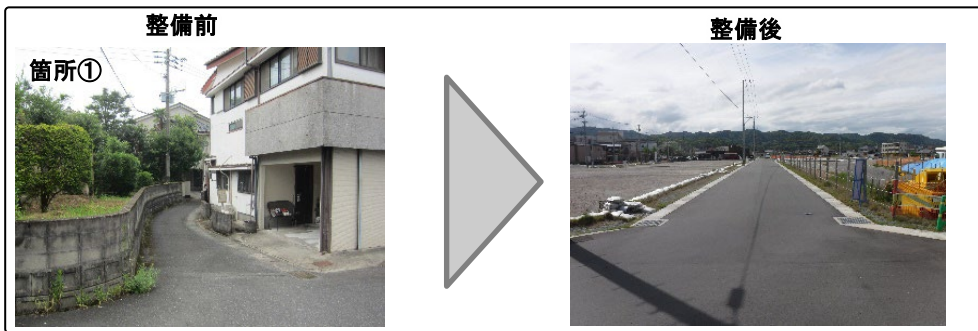
■事業主体:鹿児島市 ■事業期間:平成23年度～令和15年度

■整備内容(令和7年度):道路整備、補償等

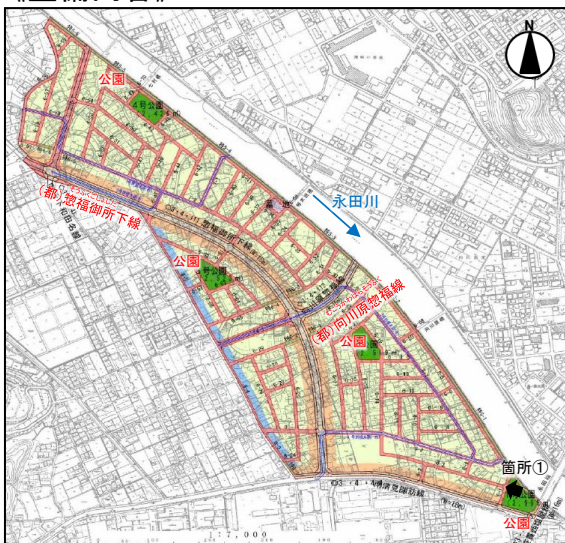
## 《位置図》



当該箇所



## 《整備内容》



令和7年撮影

## 《事業効果》

- 狭隘道路や密集市街地の解消による良好な市街地の形成
- 宅地嵩上げ等の浸水対策工事による安全な市街地の形成

■概要

事業費:1,477百万円

鹿児島県営原良団地及び鹿児島市営武岡住宅において、集約建替及び外壁改修等の老朽化対策を実施することで、居住水準の向上を図るとともに、ZEH水準※に適合した住宅を新築することにより省エネルギー対策を推進する。また、自然環境に恵まれた郊外部に鹿児島県営松陽台第二団地を建設することで、良好な住環境の住宅供給を推進する。

※省エネ基準より20%の省エネを図った住宅性能をみたすもの

- 事業内容: 県営原良団地 (建替前)RC造1,090戸 →(建替後)RC造 400戸(予定)
- 県営松陽台第二団地(新設工事) →(新設) 木造 228戸(予定)
- 市営武岡住宅 (建替前)RC造2,182戸 →(建替後)RC造1,244戸(予定)

■事業主体:鹿児島県、鹿児島市    ■事業期間:平成27年度～令和30年度

■整備内容(令和7年度)

鹿児島県:建替工事 原良団地～RC造60戸、新設工事 松陽台第二団地～木造6戸  
鹿児島市:建替工事・敷地造成 武岡住宅(第一)～RC造62戸、PFI導入可能性調査 武岡住宅(第三)

《整備内容》

令和7年度事業実施予定団地

県営原良団地  
・建替工事(本体)

市営武岡住宅(第三)  
・PFI導入可能性調査

市営武岡住宅(第一)  
・建替工事(本体)、造成工事

原良・武岡地区

原良団地

建替前

↓

建替後

松陽台地区

県営松陽台第二団地  
・新設工事

整備地区

松陽台第二団地

《位置図》

当該箇所